

## 浅草御蔵跡

浅草御蔵は、江戸幕府が全国に散在する直轄地（天領）から年貢米や買い上げ米などを収納・保管した江戸最大の米蔵です。

その敷地は、今の蔵前橋を中心に柳橋2丁目4番から厩橋手前に至る一帯の約12万平方メートルもの広さでした。酒田からの幕府直轄領の米もここに運ばれました。

隅田川岸の北から順に一番掘りから八番堀まで串のように堀が掘られ、弘化年間（1844～48）には、67棟356戸前（とまえ）の蔵が立ち並び、30～40万石の米が出入りしていたとされます。ここで収納された米は旗本・御家人への支給米や、幕府の非常備蓄米で勘定奉行支配下に置かれました。

御蔵の8筋の掘割は大正初期までありましたが、その後、護岸工事のため埋められたため、蔵前一帯に当時の面影はほとんど残っていません。

### ◆蔵前 浅草御蔵跡碑

東京都台東区蔵前2-1

都営地下鉄 浅草線「蔵前駅」出口A1より徒歩10分

都営地下鉄 大江戸線「蔵前駅」出口A6より徒歩15分



浅草御蔵跡碑



跡碑周辺



隅田川兩岸



作成：2019.8.30